

第1回 高機能プラスチック展

世界最高レベルの技術

初開催となる高機能プラスチック向けの原料、成形機械、金型技術、リサイクル技術などが、会場に集結する専門技術展「第1回高機能プラスチック展(プラスチックジャパン)」が、きょう11日(水)から13日(金)までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開催される。主催はリードエグジhibitionジャパン。入場料は事前登録者5,000円。開場時間は10時から18時(最終日は17時)まで。

端末ディスプレイ、太陽電池発光ダイオード(LED)、スマートフォンなどの高機能・添加剤、成形機械、金型技術、二次加工、リサイクル技術など世界最高レベルのプラスチック向けの原料、成形機械、金型技術などを世界最高レベルの技術が、会場に集結する専門展示会。会場では来場者が予定される次世代自動車、スマートフォン、電子製品、機械製品、自

動車、航空機、船舶工業、結晶性樹脂としてボリ

成機、押出成形機、射出成形機など

の講演が行われる。開催日は13日10時から。

第1回高機能プラスチック展 東1ホール ブース#4-23

高機能フィルム技術展

有力企業の製品・技術

<順不同>

千葉機械工業

千葉機械工業は初出展となるローラー表面を薄い金属で覆ったシート成形用ゴムローラー・スパーク・フレックスローラー・SFE-Rを展示する。フィルム成形装置やフィルムラミネート装置のタッチスクリーンに対応した製品や、毎分400枚の高速仕様など高品質タイプから簡単なハンディータイプまで幅広に対応する。ゴムローラーとして使われるゴムクロールとして使われる。ゴムローラーの使用で起きていたフィル

ムの表面状態の安定性、離型性に認定されている。このほか、光学用フィルムシートや高機能フィルム製造の成形装置、精密マルチコーター、押出機周辺装置を出展。

オサダコーポレーション

オサダコーポレーションは特殊クリーンローラーを使ったクリーナーの設計・製造を手がけています。クリーンルーム清浄度のクラス10に対応した製品や、毎分400枚の高速仕様など高品質タイプから簡単なハンディータイプまで幅広に対応する。ゴムクロールとして使われるゴムローラーの要望から生まれたローラーの品質を高品位に

都口ローラー工業

都口ローラー工業は経済産業省・中小企業庁の「ものづくり中小企業製品開発等支援補助金」を活用し、2010年に「環境対応型温DLCコーティング装置」を開発した。また、同技術を応用し、「太陽電池パネル及び薄膜塗布向けナノコート塗布機械を開発。高精度表面仕上げをしたロ

坂本造機

坂本造機は新開発の從来サイズ比約40%減の型抜き機を出展する。必要機能を絞り込み低価格化、導入コスト低減を実現した。位置決め型抜き精度は±0.05mm以内と安定した性能を持つ。フレキシブルプリント基板や精密電子部品など高精度の裁断に対応。各種タフチバナル材部材加工、印刷材

京町産業車輛

京町産業車輛の「ローラー」に連結し、けん引重量1tタイプと1.5tタイプがあり、取り外したりする。荷重は300kg。ローラーの内径をつかって幅広の荷物を運ぶことができる。荷重を軽減する駆動アシスト機能を付けた新製品の「ひつばる」を充電し、フル充電で30分間走行する。

大成ファインケミカル

大成ファインケミカルは高性能コートティング材料として新開発の無機無機ハイブリッドエマルジョン「KS-3705」、紫外線UV硬化型レジン「クリルポリマー-8BR-50」を展出する。「KS-3705」はハイブリッド粒子の持つシラール基の縮合反応による高硬化で優れた耐溶剤性、耐水性を持つ高硬度塗膜を形成する水系材料「8BR-50」は塗膜強韧性に優れ、高分子アクリルとウレタンの両性質を持つ機能性ハイドロマー。

ロック技研工業

ロック技研工業は新開発のローラー・バー・ローラ方式「真空巻取成膜装置」のパネルと装置模型を展示する。同製品はスパッタ式蒸着式のどちらにも内膜厚計を組み込み、成膜ながら計測が可能。張力制御の計測が可能など。今後同社は、顧客からの成膜依頼を強化するとともに、新分野への成膜応用開拓に取り組んでいく。

このほか、同社ブースでは高機能エコフィルムのサンプルを展示。大成ファインケミカルは高機能フィルムの開発に役立つ機能性コートティング材料として新開発の無機無機ハイブリッドエマルジョン「KS-3705」、紫外線UV硬化型レジン「クリルポリマー-8BR-50」を展出する。「KS-3705」はハイブリッド粒子の持つシラール基の縮合反応による高硬化で優れた耐溶剤性、耐水性を持つ高硬度塗膜を形成する水系材料「8BR-50」は塗膜強韧性に優れ、高分子アクリルとウレタンの両性質を持つ機能性ハイドロマー。

日本精線はステンレス鋼線のトップメーカー。1972年以来、金属織維焼結フィルター分野のパイオニアとして、漁材から最終形状品までの一段生産で顧客の要望に応え続けている。今回、金属織維「ナスロン」を素材とした画期的な金属フィルター「ナスロンフィルター」を中心展示する。ミクロンオーダーの極細金属織維を技術によって焼結、加工した高精度・低圧損のフィルターで、ステンレス鋼の持つ耐熱性、強韌性を生かしている。今後、あらゆる産業分野で応用が期待できる新しいフィルターとして注目されている。

日本精線はステンレス鋼線のトップメーカー。1972年以来、金属織維焼結フィルター分野のパイオニアとして、漁材から最終形状品までの一段生産で顧客の要望に応え続けている。

日本精線はステンレス鋼線のトップメーカー。1972年以来、金属織維焼結フィルター分野のパイオニアとして、漁材から最終形状品までの一段生産で顧客の要望に応え続けている。